

松山白鷺ライオンズクラブの活動理念

松山白鷺ライオンズクラブの「まちづくりビジョン」

松山白鷺ライオンズクラブでは、環境ビジョン「白鷺の住める まちづくり」（1993年策定 1994年6月発表）と青少年育成ビジョン「子どもの未来は まちの未来」（2006年策定 2007年6月発表）を二本柱としてアクティビティに取り組んでいます。

私達ライオンズクラブでは、“我々は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する”この「ライオンズの誓い」を例会の度に確認していますが、住んでいるまちを良くしていくために、何が出来るのでしょうか。今、私達のまわりでは、さまざまな問題が起きていますが、全てに対応することはできません。限られた時間と予算を効率的に運用するためには、私達の運動の方向性を明確にして、意識とエネルギーを集中する必要があると思われ、そのために行動目標であるビジョンを策定しています。単年度制の組織で、順序だった系統性のある運動を続けていくためにも、団体としてのビジョンを、そして目的と手段を明確しておく必要があるのです。

ビジョン策定にあたっては、トレンド・問題点・まちのイメージ・夢・松山の特性・松山白鷺ライオンズクラブの特色などを念頭におき、各方面の方々のご意見や文献も参考にさせていただきました。松山白鷺ライオンズクラブのビジョンは、基本理念・基本計画・実施計画で構成されています。

環境ビジョン(白鷺の住める まちづくり)

基本理念 「人と自然との共生」

基本理念

●共生の時代

人間も自然の一部として大きな秩序の中にあることを認識して、人と自然との関係はより調和的でなければなりません。

●緑、自然の大きな役割

緑には、人々の心に安らぎや潤いを与えるアメニティとしての緑と多様な生き物の住むエコロジカルな緑があります。山、川や季節を知らせる花、鳥など身近な自然環境は、子どもたちの成長にとっても、欠かせないものです。

●地球環境問題への対応

国際的な問題でもありますが、最終的には各国で、そして私達の生活で、省資源、省エネルギー、リサイクルシステムなどに対応していかなければなりません。

●ゆたかな創造力を育てる社会の実現

人間本来の生き方、思いやり、生きがい等について見つめなおし、地域社会の中で連帯意識を養っていくような、新たな社会教育が必要です。

●緑と水と心のネットワーク形成

石手川と重信川の水辺・河川敷と、そこで憩う市民とを結び付け、快適な空間を創り出し、豊かな自然環境の保全に努めていきたいと思えます。

基本計画

●心

自然を愛する心、まちを愛する心の育成

社会教育・家庭教育

啓蒙運動

コミュニティの形成

●水

水の大切さを認識し、水を守っていくための運動

リサイクル社会の構築

水質汚染防止

ラブリバー運動

●緑

数少ない緑を大切に、エコロジカルな緑の創造

観光開発

緑化運動

野鳥のサンクチュアリー

実施計画

・環境カレッジづくり

・モラルの高揚

・ゴミ問題

・水の大切さ

・リサイクル

・省資源

・省エネルギー

・緑の羽根募金活動

・思いやり運動

・親子がふれあえる公園づくり

・団体への支援

・自然環境に取り組んでいる個人

・フリーマーケットの実施

・公共施設などにゴミ箱の寄贈

・愛称運動(白鷺通り)

・中水道の提唱

・節水運動

・魚の放流

・ホタルの里づくり

・各家庭での排水浄化の勧め

・We Love 石手川

・環境を考えるシンポジウム

・右手川水辺にアメニティスペースの整備

・水辺巡り観光コースの模索

・アメニティマップづくり

・自然ふれあい教室

・サギソウの公園づくり

・市民の森づくり O.P.M運動

・植樹運動

・野鳥の勉強会

・白鷺のコロニーづくり

・おりのない動物園